



令和6年度 第9号  
令和7年1月20日発行  
江津市立江東中学校  
文責：校長 奈良井 孝

## 巳年だからこそ、「自分の殻は自分で破っていく」！ 復活と再生、新たな始まりを目指す年にしていきましょう。

2025 年新春を迎え、学校は新たな年の始まりへの抱負と、年度のまとめとなる3学期への決意を確認して1月8日(水)にスタートしました。低温と荒天が予報されていたので、式場をミーティングルームに変更して

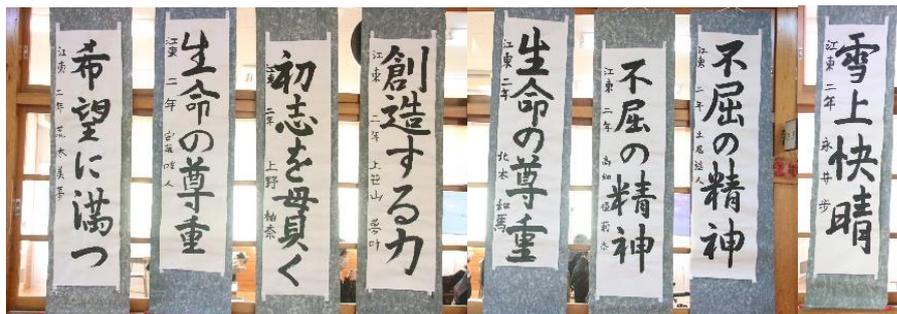


始業式を行いました。始業式では私から、「巳年」にちなんで29人の生徒も教職員も皆が、「復活と再生」、「新たな始まり」に格好の年であることを大事にしていきたいということを伝えました。そして特に、当たり前のことではあるのだけれど、ヘビが自分の力で脱皮をして成長していくように、私たちも「自分の殻を自分で破っていく」ことを大切にして、それぞれの決意が「実を結ぶ」年にしていこうと結びました。



## 新年の風物詩 “校内書初め展” ～講習会の指導が生きた、力作が並びます～

始業式後、各学年では書初め講習会で仕上げた作品の展示を行いました。講習会での指導が生きた力作が並び、なんとも清らかな空気が校舎に生まれています。それぞれに自分を表現した作品となっています。



校内審査の結果、次のように入賞者が決まりました。金賞の生徒の作品については、1月18日(土)・19日(日)に郷田小学校で開催された江津市書初め展に入選作品として出品しました。市書初め展に出かけて、市内の児童生徒の作品を鑑賞いただいた皆様、お忙しい中をありがとうございました。

- 【1年生・緑が丘学級】 金賞(市入選)：石原 遥さん 山口 莉央さん 小川 蒼太さん
- 【2年生】 金賞(市入選)：土居 遥人さん 横田 結衣さん  
銀賞：安藤 唯人さん 上笹山 夢叶さん 松田 依織さん
- 【3年生】 金賞(市入選)：瓜崎 美陽さん 山本 はるなさん  
銀賞：青木 七愉美さん 中嶋 奏太さん 吉田 双葉さん

画仙紙に筆で字を書くのは、多くの者が書初めの時ぐらいたと思います。それも中学校まで。私は、書初め作品を「仮巻」に貼り教室掲示する学校は初めてですが、仮巻に貼ると画仙紙の白と墨汁の黒が更に引き立ち、それぞれの作品に格式を生んでくれる感じを受けます。とてもいいなと思いながら作品を見ています。

## 今年度から開始！新たな“公立高校総合入学者選抜制度”

右の写真は、1月14日（火）の3年生学カテストの様子です。高校入試に向けて特にこの1年間は準備をしてきましたが、年が明け、いよいよ大詰め。学カテストもこれが最終回でした。年末から年始にかけて面接練習を重ね、それぞれの試験に臨みます。すでに私立高校入試に臨んだ生徒もいますが、第2陣は今年度から始まる「公立高校総合入学者選抜制度」での入試です。来る1月22日（水）に行われます。それぞれが願う結果が届くことを願っています。今年度から変わったこの「公立高校総合入学者選抜制度」について、以前配付されたパンフレットの一部を掲載し、制度変更の趣旨などを紹介します。



中学生・保護者の皆様へ

島根県教育委員会  
松江市教育委員会

令和7(2025)年度 島根県公立高等学校入学者選抜について

**令和4年度の中学1年生(義務教育学校7年生)から自己推薦による入学者選抜制度を導入します**

**公立高校の入学者選抜制度の変更点**

現行制度 (令和6年度まで)	変更	新制度 (令和7年度以降)
推薦入学者選抜	変更	総合入学者選抜
中高一貫教育校(連携型)に係る入学者選抜		中高一貫教育校(連携型)に係る入学者選抜
スポーツ推進指定校推薦入学者選抜		スポーツ推進指定校入学者選抜
一般選抜		一般選抜
第2次募集		第2次募集
通信制課程選抜		通信制課程選抜

特色入学者選抜 「総合入学者選抜」、「中高一貫教育校(連携型)に係る入学者選抜」、「スポーツ推進指定校入学者選抜」の3つの選抜の総称

「県立高校魅力化ビジョン」(平成31年2月)において島根県教育委員会が示した内容に基づき、以下の観点から入試制度を変更します(松江市立皆美が丘女子高校も含む)。

- ★ 中学生が多様な選択肢の中から主体的に高校を選ぶことができるようにする
- ★ 生徒一人一人の資質・能力を多面的・総合的に評価する
- ★ 各高校の教育の魅力化・特色化を推進する

### 新しい入学者選抜制度に関する質問と回答

- Q&A** 「推薦入学者選抜」を廃止し、「総合選抜」を新設するのはなぜですか。
- 「推薦入学者選抜」では、中学校長の推薦が必要でしたが、「総合選抜」では中学校長の推薦は必要ありません。受験生は、自身の興味・関心と向き合い、将来なりたい自己を実現するために必要な資質・能力を身につけるために、各高校が示すブランドデザインをもとに、多様な選択肢の中から主体的に受験する高校を選ぶことができます。また、志望理由書や各高校が実施する検査等を通して、中学校等で培った受験生一人一人の能力や適性が多面的・総合的に評価されるようになります。加えて、全ての高校がそれぞれの魅力や特色をより明確にして、選抜を実施できるようにします。
- Q&A** 総合選抜を受検して不合格だった高校・学科について、一般選抜で再度同じ高校を受検することができますか。
- 可能です。ただし、第2次募集については定時制課程を除き、一般選抜で受検した高校を再度受検することはできません。
- Q&A** 地域外からの合格者数に制限のある学校(松江北、松江南、松江東、出雲高校のいずれも普通科)を受検する際にそれぞれの選抜において地域の制限がどのようになるか教えてください。
- スポーツ特別選抜、総合選抜においては、地域の制限はありません。一般選抜及び第2次募集では、松江市内の高校の普通科はそれぞれ入学定員の10%、出雲高校の普通科は5%が地域外入学制限になります。
- Q&A** スポーツ特別選抜における「中学校長等による活動実績を証明する書類」とはどのようなものですか。
- 在籍する中学校での部活動の活動実績を校長が証明する書類または部活動以外のスポーツ団体等の体育活動を指導者等が証明する書類(賞状、掲載された新聞記事等を添付)のことです。

制度で公立高校入試に臨んでいくことになります。さあ、来年は2年生の番ですね。すぐこの時がやってきますよ！そしてその次は1年生です。今から少しずつ考えたり、家族と相談したりしていきましょう。

## 令和6年度江津市スプリングマッチ ～ 基礎英語力の向上を目指し、連綿と続く取組です！～



今年度で第66回となる「江津市中学校スプリングマッチ」のテストが、市内の中学校一斉で1月15日（水）に行われました。基礎英語力の向上を目指し、60年以上にわたって江津市教育研究会英語部会の主催で続けられています。80点以上が合格で、90点以上だと江津市教育研究会英語部会から表彰されることになっています。さて、今年の出来具合はどうだったのでしょうか？また、第66回ということは、保護者の皆さまの中にも、中学生の頃に取り組んだという方たちがおられるかもしれませんね。当時の結果はいかがでしたか？難しかったですか？90点以上で表彰されましたか？お子



さんの答えが返却されたら、当時を思い出しながら一緒に回答に挑戦してみてください。まだまだ大丈夫かもしれませんね。ちなみに私はといえば、中学・高校・大学と、英語は大の苦手科目でした。今もALTの先生と話すときは、ドキドキしてしまいます。恥ずかしがらずに話せるくらいに英語ができるといいですね。

